



# 北海道日高高等学校

〒055-1307 北海道沙流郡  
日高町松風町一丁目一六番地の二  
<http://www.hokkaido-hidaka-hs.jp/>



## 波乱のスタートの1学期を終えて

北海道日高高等学校長 谷 尊 仁

令和二年度は新一年生十五名が入学し、全校生徒三十一名でスタートしました。これまで経験したことのない状況下でスタートした令和二年度も年度始めから四カ月、一年間の四分の一が経過しました。

四月の月上旬に新二・三年生は一ヶ月ぶりに、新入生は新しい環境に不安な気持ちと期待を胸にして、新年度のスタートを控へ入寮しました。今年度は、年度初めの帰寮および入寮日と同じ日に、国による「緊急事態宣言」の発令があり、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のために、学校は臨時休業を余儀なくされました。

月下旬まで土日を除く毎日、先生方が作成した課題が朝に配布され、夕方の回収時間までに寮の自室で各自で取り組みという生活が続いていました。

六月に入り、やっと野外での活動が出来ることになり、都会では味わえない心地よい風、澄みきった水の音、雄大な山々など日高の大自然から人としてのエネルギーを貰い受けることが可能になりました。しかし、例年七月に行われ、生徒や保護者等の皆様、地域の方々が楽しみにしていた「こもれび祭」を中止せざるを得なくなりました。

まず。今年については、帰省先の地域でのコロナウイルス感染者増加の影響もあり寮に残留する生徒もおりますが、生徒達は道内外のそれぞれの地域に里帰りすることとなります。生活面においては、「新しい生活様式」（新型コロナウイルスの感染拡大対策）を遵守した行動の指導をお願い致します。

お子様の大きく成長した姿をご覧いただくとともに、沢山の愛情を注がれ、2学期のエネルギーを充電していただければ幸いです。

今後も家庭、地域、学校が協力して未来有望な生徒達の成長のために、ご支援とご協力をお願い致します。1学期最後のご挨拶と致します。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



生徒会執行部によるあいさつ運動の様子

## 令和元年度 第一回いじめ把握のためのアンケート調査結果

教頭 近藤 伸

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全国の学校休業要請が三月から行われ、新年度の四月以降も臨時休業が二か月近く続いたのち、ようやく教育活動が再開されました。新型コロナウイルスについて現時点でわかっていることは、「ワクチンや即効性のある薬はない」、「三密」のウイルスが全て無くなったわけではない」、「三密」の場所や地域ではクラスター形成や感染者の急増がある」ということです。

新年度に合わせて生徒たちが帰寮した日と緊急事態宣言発令日が重なったため、生徒は寮での待機を余儀なくされ、外での活動が自粛される等、精神的な不安定さ、ストレスを抱える生徒たちのメンタルヘルスケアに教職員全体で対応する必要があります。このような中で、いじめは、どの生徒にも、どの学校でも起こり得るもので、いじめ問題の原因で生命や身に重大な危険が生じる事案が社会問題化しています。学校生活（寮生活を含め）において、いじめ（嫌な思いをした）を正確に認知し、未然防止・早期発見・再発防止に努めるため、アンケート調査を年間二回（第一回目は六月実施）実施しています。

では、「四月から自分が嫌な思いをしたことがあるか」との質問に「ある」と回答した生徒、「友人が嫌な思いをしたことがあるか」という質問に「ある」と回答した生徒がいました。どちらにも慎重に状況を確認し、ストレスを抱える生徒から担任を中心に丁寧な聞き取りを行い、「いじめの芽」「いじめの兆候」を見逃さずに対応しました。また、その他の質問項目で「嫌な思いをした時、誰に相談しますか」との質問に対して、七割程度の生徒が「友人・親・先生」と回答しており、身近な相手に相談しようとする考えを持つていることは、新型コロナウイルス感染症により、不自由な生活を強いられる中で、お互いに信頼できる関係にあると言えます。

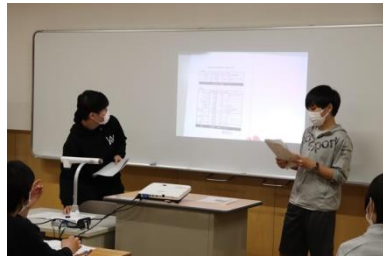
今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校行事の中止や延期、学びの保障のための授業数増加など、生徒たちの負担が増えている面もあります。しかし、生徒達が同じ時間、共有する学校という空間の中で、相手に嫌な思いをさせないために、ちょっとした気遣いや、心配りがあれば問題に発展しないケースが多々あると思われ、保護者の協力を得ながらきめ細かな指導をしていきたいと考えております。

なお、第二回目のアンケート調査を秋に予定しておりますので、その結果につきましては紙面にてお知らせいたします。今後とも日高高校の教育活動に對してご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

一学期の学校生活の様子



3年生・面接練習の様子。本来は外部講師の方をお呼びする予定でした。



生徒総会も「密」を避けるため、学年ごとに分散実施しました。



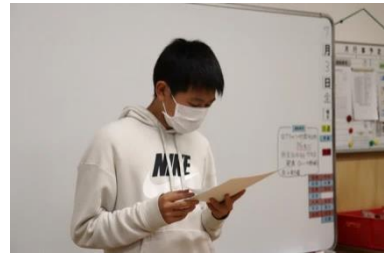
モザイクアート作りです。今年も地道な作業が続きます。



2年生の1学期期末考査の様子です。今年度初のテスト！



こちらはムービー制作班です。使う写真を選んでいきます。



生活体験クラス発表の様子です。各クラスで代表を決めました。



3年生・フードデザインの調理実習です。マスク+手袋で完全防備。



1年生・現代社会の発表の様子です。エネルギー問題について考えました。



1年生・科学と人間生活の実験です。金属を熱して合金を作りました。



校内生活体験発表大会

一学期終業式前日の七月十一日（火）、校内生活体験発表大会が高校体育館にて開催されました。この大会は定時制高校に通う生徒が、日々の生活の中で得た様々な経験について発表する大会です。この校内発表大会で代表に選ばれた四名の生徒は、八月に行われる日勝支部大会に出場します。さらに支部大会で最優秀賞に選ばれると全道大会へと進み、最終的には全国へとつながる大会です。

例年ですと日高町の道の駅「サン・ポツケ」を会場に、一般公開で行われる行事ですが、今年度は新型コロナウイルス関連の状況を鑑み、学校関係者のみで開催という形をとらせていただきました。

当日は十一名の生徒（三年生四名、二年生三名、一年生四名）が各クラスの代表として日高での生活について発表してくれました。今年は様々な野外活動や集団活動が制限されたこともあり、書く内容に苦労した生徒もいたようですが、それぞれの個性が光る素晴らしい発表をしてくれました。

結果は下記のようにになりました。入賞した皆さん、おめでとうございます。日勝支部大会ではさらに上を目指して頑張ってください。

（文責 小高）

校内生活体験発表大会 結果

- 最優秀賞** 関口 和（3年）「長いようで短かった3年間」
- 優秀賞** 矢田 真白（1年）「成長とは」
- 努力賞** 山田 康介（3年）「過程」  
松澤 隆英（1年）「これまでのこと、これからのこと」

入賞者は8/28（金）に行われる予定の日勝地区大会に出場します！



北海道日高高等学校校内生活体験発表大会